

大学院学生 (平成2年度)

霊長類学専攻

氏名	学年	指導教官	研究テーマ
五百部裕	D5	加納隆至	ビグミーチンパンジーのオスの社会学的研究
伏見貴夫	D4	久保田競	霊長類のコミュニケーションに関する実験的研究
室山泰之	D4	杉山幸丸	バタスモンキーの社会生態学的研究
大石高生	D3	久保田競	前頭葉の機能と伝達物質の関係について
小林秀司	D3	江原昭善	ティティ属 (Genus <i>Callicebus</i> ) 3種の系統関係
高井正成	D3	江原昭善	南米コロンビアのLa Venta 地域産出の霊長類を含む中新生化石哺乳類について
山下晶子	D3	大島 清	神経系の個体発生
井上美穂	D2	竹中 修	DNA 多型を用いたニホンザルの父子判定
鈴木良太	D1	野澤 謙	分子進化によるテナガザルの系統解析
中村克樹	D2	久保田競	情動や記憶における扁桃核のはたらき
Soumah Aly Gaspard	D2	杉山幸丸	高崎山におけるニホンザルの採食戦略
小林 隆	D1	加納隆至	都井岬の半野生馬の社会生態学的研究
河本敏男	M2	久保田競	頭頂連合野の入出力関係の研究
松村秀一	D1	加納隆至	ニホンザルオス間の社会的相互作用
橋本千絵	D1	加納隆至	野生ニホンザルの採食戦略
宮地剛士	M2	久保田競	前頭前野における視覚性刺激のはたらき
植木 浩一郎	M2	久保田競	随意運動の発現機構の研究
小川秀司	M2	加納隆至	チベットモンキーの社会学的研究

揚妻直樹	M2	加納隆至	ニホンザルの採食行動と食物の生産性
大野央人	M2	杉山幸丸	チンパンジーの社会的相互作用
田中 香	M1	加納隆至	ニホンザルの採食行動発達
近藤 あや子	M1	杉山幸丸	ニホンザルの宥和行动
花澤明敏	M1	久保田競	「注意」の神経生理学的研究
関根雅夫	M1	小嶋祥三	母子分離の行動的・生理的影響

研 修 員

氏名	指導教官	研修題目	研修期間
鮑 秀芳	野澤 謙	霊長類の健康管理に関する生化学的及び細菌学的分析	元.10. 1 } 2. 9.30
広谷 彰	杉山幸丸	家畜の生態学と人との社会交渉	2. 4. 1 } 2. 9.30
芝原総子	杉山幸丸	ニホンザルメスの糞中ステロイド分析による血中ステロイド動態推定法の確立及び社会的要因とゴナドトロピン性腺ステロイド量との関連性についての研究	2. 4. 1 } 3. 3.31
高崎浩幸	竹中 修	分子生物学的手法によるチンパンジーの父子判定	2. 7. 1 } 2. 9.30
竹中兎子	竹中 修	霊長類のグロビン遺伝子について	2. 8. 1 } 3. 7.31
瀬戸口 美恵子	加納隆至	小型哺乳類の社会学的研究	2. 8. 1 } 3. 7.31
友清和彦	中村 伸	霊長類の血液凝固因子に関する研究	2. 9.18 } 3. 3.31